

令和7年度 富田林市元気なまちづくりモデル事業補助金（市民公益活動チャレンジ・プライド）審査結果及び講評

団体名	補助事業区分	提案事業名	取り組む地域課題	審査結果	講評
筋肉健康会	スタートアップ型 2年目事業	筋力アップによる健康増進のまちづくり事業	① 健康に関する知識の啓発・情報提供による健康寿命延伸 ② 運動や栄養バランスの指導を行い、変化を数値化して提供 ③ 富田林市独自の筋トレ体操の拡散→まち自体の健康意識の増進	採択	収益を確保できている点が評価できる。参加者を増やすプランもあり、発展も期待できる。個人の健康管理については理解できるが、会費を増やすだけに留まっているように感じる。地域課題としてのまちづくりの課題とどのようにつなげていくか、効果指標も活性化と発展をどう提示できるのか、健康意識の増進等もどう効果を測定するのか、富田林市民全体への効果を考えて、事業内容の工夫をお願いしたい。そのための工夫として、様々な会場を回っていくことや自治会等他団体から呼んでもらう等も考えていただきたい。
富田林寺内町シネマプラス実行委員会	自由テーマ型 2年目事業	富田林寺内町シネマプラス映画祭	1.地域イベントなどの担い手不足、活動機会の減少 2.商店街や地域経済の衰退	採択	映画の内容から公益性が期待でき、学生の参加者を増やすというビジョンがあることは評価できるが、主体的に動いてくるスタッフの強化が望まれる。特に若い世代をうまく巻き込んでいく必要があり、より多くの人に実行委員会に関わってもらえる工夫が公益性の増進にも重要である。
寺池公園等を活かしたまちづくりの会	スタートアップ型 新規	金剛地区再生に向けた市民活動の輪を広げるプロジェクト	○金剛地区全体の魅力・文化の向上、金剛地区の再生に繋げていくためには、自治会も含めて多くの方々の参画のもと取り組み、皆で達成感を得ながら、都市空間に磨きをかけていくことが、都市魅力の創出だけではなく、地域への愛着・アイデンティティの形成、コミュニティの活性化、シビックプライドの醸成、さらにはウォーキングなどによる健康増進の観点からも重要になる。 ○また、地域主導・関係者連携のもと、段階的・継続的に都市空間の魅力を高めていくためには、活動の目標となる将来像を共有することが重要となる。このため、10年、20年の歳月をかけてでも金剛地区の都市空間の魅力を高めていくための目標像を設定していく必要がある。 ○以上の事から令和7年度は、下記2点に取り組む。 ①金剛地区の多くの自治会員の参画を促す取り組みを企画するとともに、金剛地区再生に向けての様々な活動を、金剛地区自治会員に認識していただけるよう、楽しみながら参加できる機会を創出し、自治会参画の促進と意識の共有を図る。 ②多くの関係者が関わり共に創り上げていくための“都市空間創造の目標像(維持・改善計画等)”を市とともに策定するための環境整備を行う。	採択	今後のスケジュールが明確で、協賛金が期待できる点は評価できるが、福祉や子育て支援等、総合的なまちづくりへつなげる工夫もお願いしたい。若い世代は、楽しく緩やかな活動を望んでいるので、そうした方々も参画できる工夫も必要である。そのためには、会の柱の一つとして色々な人の活躍の機会を提供するプラットフォーム機能を持たせていただきたい。また、行政との連携も必要だが、市民主体の活動に展開できるような動きに繋がっていけばよいのではないが。
甘山秋友会	自由テーマ型 2年目事業	津々山総踊	この事業は、地域住民が世代を超えて交流し、つながりを深めることを通じて、地域全体の活性化に貢献することを目指しています。盆踊りをきっかけに、子どもからお年寄りまで誰もが楽しめる交流の場を創出し、特に盆踊りを知らない子供たちには踊りを教え、盆踊りの文化や伝統を伝え、次世代へと受け継いでいくことを目的としています。地域のコミュニケーションを促進することで、より住みよい富田林市を築くことを目指します。各地域の掲示板やSNS、すこやかネットなどあらゆる媒体を通じて富田林市全体に呼びかけ、地域の絆を育むための催しを計画しています。	採択	昨年度、経験を得られている点や収支がプラスである点は評価できるが、総踊りのイベント効果がどのように地域活性化につながるか、より明確にして、実績報告時には評価をお願いしたい。
喜志西小学校区まちづくり協議会	協働事業推進型 2年目事業	みんなつながろう貴志西	地域住民同士のコミュニティの確立 事業の活動に住民が主体的に参画できる取組み 住みやすいまちづくり	採択	課題を認識している点や収支を見直している点は評価できる。行事や活動の周知に関して工夫はされているのか、また、行事を終えた後の反省会を開催されているが、その内容をどのように周知されているのかが気になる。さまざまな方に機会を提供することで、担い手が集まってくるのではないが。協議会が準備しすぎると参加者がお客様になってしまうため、マルシェ等やりたい人がやりたいことをできる部分も増やして頂きたい。それが、多くの人に主体的に関わってもらえるきっかけになると思われる。
特定非営利活動法人 ほっこり会	自由テーマ型 2年目事業	障害者家族に希望と勇気を与える事業(講演を主催)	精神障がいやひきこもり状態の人々やその家族気軽に語れる居場所が少ない。同様の悩みを持っているから話せることもあり団体の周知をしているが周知不足。令和6年度開催『ほっこり公開講座』では93名という多数の参加者となったが、通常の例会においては一桁に留まっている。ただ、『ほっこり公開講座』後の総会においては、新規入会者2名に見学者2名、計14名とこれまでにない参加傾向にある。ほっこり会への期待の表れであると感じている。『ほっこり公開講座』を継続させることで活動の周知が必要。 『ほっこり公開講座』を起爆剤として、富田林ほっこり会が多様なニーズの結節点になるようにしていきたい。	採択	精神障がいに対する理解を高めるという点で公益性は高いものと思われるが、当事者や当事者家族だけでなく、様々な方に参加してもらうことが重要だと考える。講演会の開催以外に実際に当事者の支援活動について、団体とどう連携しながら進めていくのかを考えて頂きたい。また、活動をしながら協力者を募る方法が必要ではないかと考える。
とんだばやし観光会	自由テーマ型 2年目事業	「富田林を歩こう！～ええとご富田林」のまち巡り 全6回	富田林のことをあまり知らない市民の方が多いことに対して、まち巡りを通してその良さを体感してお子様、お孫様に至るまで永く住んでいただきたいということです。 富田林市は人口減少、若い世代の人口流出が問題になっています。特に社会減が大きい問題になっており、当市は最近の傾向として毎年千人の人口が減少しています。このままでは7年後には10万人を割り込み、2045年には7万人(35%減)になると予想されています。これは富田林市の未来の発展に対しての大きな問題点で、税收減はもちろん、安全で快適な住みよいまちづくりの維持もむづかしくなっています。 人口の社会減を少しでも食い止めるためにも、富田林のよさを体感していただいて、永く富田林に住みたいと感じていただくこと。そして、その結果郷土愛を育んでいただき、お子様やお孫ちゃんにもそれを伝えていただきたいという想いがあります。そしてそのお子様・お孫様が成人になっても富田林にずっと住み続けたいと思っていただくことを大きな課題として挙げさせていただきます。	採択	体験を交えての観光は非常にタイムリーであり、富田林のファンを作るためにも重要だと思う。しかしながら、内容を考えても参加料金が安い点や、繰り越し財産が減少している点が懸念される。インバウンドや学生など今までメンバーにいない人たちが巻き込んで、タイトルを分類して継続していくことを望む。また、他団体のノウハウを学ぶことも重要だと考える。
あるこうかい富田林	自由テーマ型 新規	あるこうかい富田林	富田林は高齢化が進んでいる地域もある。65才以上の人口割合が30.3%である。前年に比べ、高齢化率は上昇傾向にあります。高齢者の健康づくりは、一人でも多く運動を習慣化し、周囲との交流を深め、社会参加が必要である。ウォーキングは、心身ともに健康を目指すには、一番近道であると考えられる。安全で自然の多い、いい錦織公園で「ウォーキング教室」を開催して、すこしも多くの方々に参加して頂き健康維持・増進をはかり、富田林市を健康長寿で元気なまちにする。	採択	高齢社会の課題に対応している点が評価できるが、活動が市域全体に広がるような発展性が不明瞭である。錦織公園だけでなく、その周辺も併せてコースにすることで、まちづくりにつながってくると思う。より多くの市民に参加してもらえるような魅力的なプログラムづくりをお願いしたい。そのためには、他の団体と協力しあって、活動の負担を軽減したりしながらイベントを開催できれば良いのかもれない。

令和7年度 富田林市元気なまちづくりモデル事業補助金（市民公益活動チャレンジ・プライド） 審査結果及び講評

団体名	補助事業区分	提案事業名	取り組む地域課題	審査結果	講評
シリウス・ウィンド・バンド	自由テーマ型 2年目事業	吹奏楽 無料定期演奏会 公開練習 2年目	・ 地域の活性化の停滞 地域イベントや交流の場が限られており、地域の賑わいや一体感が薄れつつある。特に若年層と高齢者の世代間交流が不足している。 ・ 市民の交流機会の不足 日常的に異なる世代や背景を持つ市民が交流できる場が少なく、孤立感や地域への関心の低下が課題となっている。特に高齢者や子育て世代にとって、気軽に参加できる公共の交流機会が乏しい状況である。 ・ 音楽文化の衰退 地域の文化活動や音楽活動が縮小傾向にあり、若者の文化離れが進行している。これにより、地域の文化的アイデンティティが希薄になっている。 ・ 若者の育成・活躍の場の不足 若者が主体的に関われる文化的・社会的な場が少なく、地域活動への参加意識の低下や進学・就職後の地域離れにつながっている。	採択	住民参加の点で公益性が期待でき、投げ銭方式の寄付金など前年の審査の議論が反映されている点が評価できる。また、アンケートを実施し、今後の活動の参考にするなど意欲もある。演奏者も聴衆も気軽に音楽に親しめる機会を増やしていただければと思う。その一つとして、施設のみならず、お店等まちの色々な場所で開催したり、また、子育てにしんどさを感じている世代などにも届けなどの工夫をお願いしたい。
すばる第九を歌う会	自由テーマ型 2年目事業	「すべての人々が兄弟になる」 声を合わせて歌おう 市民とともに歌を楽しもう	全国的に出生者が減少する中で本市も例外に漏れず人口に減少、若者世代の転出、住民の高齢化が進んでいます。特に、世帯数に対して人口の減少は、核家族や高齢者世帯の増加を示しています。また、6年前に起きた新型コロナウイルスの感染拡大は、市民生活・経済活動に現在でも大きな影響を与え、人的交流の機会が激減し、これまで地道に築かれていた人間関係を希薄化させてしまいました。しかし、一方で这是これまでの生活形態を見直す契機となり日常生活のデジタル化が図られるなど、新たな人とのつながりが創られつつあることも確かです。しかし、本来私たち人間は顔に顔を合わせ、目と目を交わす中で心を通わせ、地域相互理解が培われてきました。そうした経過を思えば、デジタル社会においても地域の高齢者同士であれ、異年齢どうしてあれ、顔を合わせて他者となつながら合い、心を寄せ合うことは日常生活において掛け替えのないものであり、それぞれの市民が持つ活動要求に見合った行動を組織していくことが重要です。これまで、私たち「すばる第九を歌う会」は、30数年牽聖ベートーヴェン作曲による「交響曲第九番二短調合唱付き」を歌い、聴衆に聴いていただくことで、名曲の継承とベートーヴェンが残したメッセージ「アーレメンシエン ヴェルデン プリュール(全ての人々は、みな兄弟になる)」という人権尊重の精神を市民に伝え、共感を得てきました。私たちが得意とする「歌うこと」を通じた文化・芸術活動は、市民の心を豊かにし、打ち解け合い、一緒に生きていこうとする元気を与える、その媒介として大きな役割を果たせるものと考えています。	採択	事業の収支がマイナスになっている点で継続性に懸念がある。経済的自立に向けての工夫を始めて頂き、早期に本補助金に頼らずに出来る事業にして頂きたい。また、出前演奏や演奏会の場面で色々な世代と交流できるような工夫が必要である。
富田林車いすダンス協会	スタートアップ型 新規	車いすダンスを通じた心のバリアフリーの普及活動	障がいはいわゆる障がい者の中ではなく、障がい者の周りの環境にあるものであり、その環境を作るのは社会＝人である。マイノリティである障がい者への大多数の人の無関心が障がい者に障害を与えているのである。 車椅子は一目で不便さ障がい者を連想させるツールである。一方で車椅子ダンスにおいてはダンス表現に必要不可欠なツールでもある。このため車椅子ダンスの表現は障がいの象徴たる車椅子へのイメージを払拭し、市民の心に潜む車椅子ユーザー・障がい者へのバリアへの気づきへの一助となると考える。 物理的環境を整えるバリアフリーだけではなく、富田林市民ひとりひとりから自らの心のバリアに気づき、横にいる困っている人に当たり前に手を差し伸べる。こんな心のバリアフリーが広がることで、富田林がさらに誰にとっても暮らしやすい街になることを目指す。	採択	障がい者への考え方を啓蒙する活動ということで公益性が期待され、普及方法を考えている点で発展性も評価できるが、団体活動の中長期的な目標が少しわかりにくい。健康者もさまざまな障がいを持った方々も含めてみんなでダンスをする方法も考えてほしい。また、企画運営に関わる人脈を広げる工夫もお願いしたい。全国的に同様の取り組みがあるので、それから学ぶことが出来るはず。
福祉推進団体 水花火	スタートアップ型 2年目事業	福祉のまちづくり計画	▼福祉ポータルサイトの掲載記事の増加 ・現在の掲載数は3(就労継続支援B型事業所 K&S様、就労継続支援B型事業所 ワークショップアイ様、就労継続支援A型事業所 糸星) ・各福祉事業所を分野別や場所で絞り込み可能 ・地域の居場所なども掲載 ・お役立ち情報などブログ掲載 ▼市民公開講座(社会福祉協議会後援)：LiD/APD及び難聴について LiD/APDは近年研究の進んできている分野であり、行政での啓蒙啓発が進いついていない。軽中等度難聴を含めLiD/APD中等度難聴についてのリテラシーが無く、二次障害として精神障害の発症等の事例もあり、早期の啓蒙啓発が必要。公開講座では広く市民に専門的な情報を提供する。 ▼ワークショップの開催：生きづらさ・暮らしづらさに対して 現代は横の繋がりが薄くなり、個の課題を個で解決せざるを得ない状況。ワークショップでは自分と社会を繋ぎ直す体験を提供し、市民の生きづらさや暮らしづらさのアプローチする。対象：全市民 ▼富田林市社会実験での代理販売ブース出店 昨年度に福祉チームとして参画。実施の結果事業所同士の交流も生まれ、投出品や利用者、制度などの情報間も入れ、必要性を感じた。現在、富田林市には50を超える障害者見向けの福祉施設があり、活動を行っているが一般市民との交流の場は少なく、福祉制度の活用方法を知らない市民も多いので、本取り組みで繋がりを作りつつ福祉の啓蒙活動を継続する。	採択	活動継続についてビジョンがあるが、テーマに掲げている「福祉のまちづくり」についての目標と、何を指しているかとしているのか中長期的な目標がわかりにくい。個々の事業の関係性を考えて、事業全体のストーリーをより明確にしたい。また、賛同者、協力者を広げる工夫もお願いしたい。
嬉ハウス	自由テーマ型 2年目事業	嬉々日和り vol.2	2025年7月より順次オープンするサバーファームにて開催予定。 都市近郊にありながら自然と農業が体験できる貴重な交流施設であり、地元の野菜が買えるなど地域の魅力を発見できる場所でありながら来場者数が少ない。	採択	子育て層の活動のモデルにもなることを期待している。企業の協賛金ではなく広告費として資金提供してもらうなど経済的自立を目指した工夫をお願いしたい。ALL富田林で活動を広げていく方法を検討する必要がある。

令和7年度 富田林市元気なまちづくりモデル事業補助金（市民公益活動チャレンジ・プライド）審査結果及び講評

団体名	補助事業区分	提案事業名	取り組む地域課題	審査結果	講評
すこやかネット明治池	自由テーマ型 2年目事業	「ふるさと明治池」ビルドアップ事業【第2期】	明治池中学校区住民の少子高齢化に伴い、「こども会」等の数は激減し、地域や保護者同士の横の繋がりも希薄になっている。『ふるさと明治池』を合言葉に①顔と名前が一致する地域②子どもも大人もずっと住みたくなる地域③地域とのかかわりの中で、自己肯定感を持ち、自他ともに愛せる子④次世代の地域リーダーの育成を地域課題として取り組む。	採択	収支がプラスであることや事業を広める方法についても考えがあり、評価できるが、経済的自立の工夫をお願いしたい。まちづくりモデルとして、富田林市の他の地域にも波及できるようにされたい。
フクチェン	学生活動応援型 2年目事業	フクチェン	少子高齢化の影響で地域の人たち同士や近隣の市の人との交流や活気減少してきていると考える。そのため、金剛マルシェ等の地域住民が主体となって開催されるイベントで、古着の無料回収、販売を行いイベントに近隣の地域の人々などの集客を増やし、来てくださったお客様と地域住民や私たちとの間でコミュニティが広がることによる地域活性化や衣服の廃棄量削減などSDGs達成につなげていくことを目的とする。	採択	衣服の交換会がまちづくりや地域活性化にどのように貢献しているか、実績報告時には評価をお願いしたい。収支がマイナスで継続性に懸念を感じる。また、団体内で代替わりする中で、意思決定の理由が伝わっていない点でも主体性に不安を感じる。環境問題を総合的に見れるような工夫が必要である。
とんままRe.	スタートアップ型 新規	子供用品リユース事業・子供中心マルシェの開催	・子供用品（子供服・おもちゃなど）を気軽におさがり出来る場・機会が不足しており、循環システムが地域に十分に整備されていない。（富田林市内に子供用品の無償リユース事業をメインに手掛ける団体は現時点で無い） ・子供が集える子供中心のマーケットが市内に少ない。地域との繋がりが希薄になっている家庭もあると推測する。（こどもなんかを推進）	採択	同世代だけでなく、次の担い手も含めた仲間づくりの工夫と、団体としてのストックを持たないような工夫をお願いしたい。また、事業に必要な消耗品の購入に止めること。他地域でも同様の取り組みがあるので、そこからアイデアやヒントを得て、より良いものにしてもらいたい。
NPO法人富田林自然農法根っこ会	自由テーマ型 2年目事業	農とアートのまちづくり	・遊林農地の増加、農業の担い手不足、高齢化。 ・市民の食の安全と健康 ・地域コミュニティの希薄化	採択	今後、イベントへの参加者は期待できるが、講演会が何処にどのような効果が出るのかを明確にして頂き、それが効果発現したのかどうかの評価をお願いしたい。また、経済的自立の工夫もお願いしたい。事業計画をわかる範囲でしっかりと書き込んでいただきたい。